

清里まちづくり No.2

2007年8月

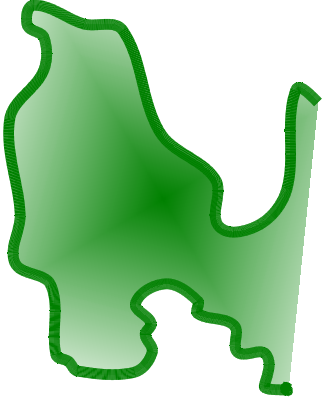
企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/> まちづくり・市民参加



清里ふるさと祭り

清里地区自治会連合会長

松下 博寿

『ふるさと』、言葉の響きの中から受ける思いは大小の差こそあれ、懐かしくそして心安らぐ思いが感じられます。私たちの住む清里のより一層の活性化を目指し、話し合いの場・掘り起こしの場・認め合う場所として八月十八日（土曜日・雨天翌日に順延）『清里ふるさと祭』を実施することと致しました。六月二十八日、実行委員会を立ち上げ、各部門ごとに着々と準備を進めております。当日は、午後三時から子供を中心とした夏祭りを盛大に行い、午後六時から、盆踊りを中心



盆踊りを中心
に、西謡会の
皆さんによる
八木節・上青

梨子町の盆踊り・祭りを彩る清里花火・お楽しみ抽選会等、盛り沢山の行事により、暑い夏の一夜を、子供さんからお年寄りの皆さん迄、ご家族と一緒に、楽しい思い出づくりをさせていただければと思います。十年ぶりに行われる盆踊り、多

くの地区住民の皆様が一堂に会し、コミュニケーションの場として、有意義な一夜にしてほしいと願っております。



清里花火

夏の夜を彩る花火、清里地区にも過去において打ち上げ花火を行った経緯があります。十年ぶりに復活する『盆踊り』メインに、『第一回清里ふるさと祭』を実施するにあたり、清里地区にお住まいの皆様をはじめ、近隣市町村の皆様からも沢山の賛同をいただきましたことに、心から御礼申しあげさせていただきます。この清里祭り会場のすぐ近くから打ち上げられる花火は、前橋花火と比べるわけにはゆきませんが、地区住民お一人お一人の思いが、それぞれの花火により強くこめられており、清里の未来を託す思いで、短い時間かもしれませんが、是非ご覧いただければと思います。

以上



枝豆の収穫まつり

馬場稜威夫

皆様のご協力大変ありがとうございました。去る七月二十一日「枝豆の収穫まつり」に清里地区の、多くの皆様に参加をいただき盛大に開催することができました。これは「郷土料理と食育」部会で企画をして、四月二十八日に皆さんで枝豆の種まきをし、大事に育てた枝豆を、畑で摘み採ってもらったり、この枝豆を使ったいろいろな料理の試食会、枝豆のクイズやゲーム、清里産の野菜や花の即売会等盛り沢山の「枝豆の収穫まつり」でした。

当日は子供ずれのお父さん、お母さんが多く参加され大変賑やかなお祭りになりました。受付で枝豆を入れる袋と、かき氷のサービスクーポンをもらい、畑で役員の方達が切り取った枝豆を皆な袋いっぱいもぎ取りました。いっぱい袋をさげ公民館に戻った後は、料理の試食会です。枝豆を使った珍しい料理に舌づつみを打つたり、かき氷には長い列ができるほどの人気でした。野菜や花は市価より安

く販売したので、皆さん買い求めておりました。今年から清里地区で進めております「まちづくり」の行事として清里地区の特産物である枝豆を使ったイベントを開催したわけです。畑を貸してくれた関根ミチ子さんをはじめ、種まきの準備や指導をしてくれた関根政次さん、祭りの企画や枝豆の料理を前日から準備をしてくれた女子役員さんや食改の皆さんをはじめ、まちづくり検討委員会の方々の力で「枝豆の収穫まつり」ができたわけです。



(えだ豆の収穫の様子)

こうした自分達手作りの行事を通して、私達の郷土「清里」の人達のふれあいを大切にしていきたいと思いません。

お蔭様で今回の「枝豆の収穫まつり」に参加された人数は百五十七名、役員の数を含めると二百名ほどの参加者になります。清里まちづくり協議会の最初のイベントでしたが皆様のご協力により開催できました事に感謝申し上げます。最後になりましたが野菜や花の即売会に出品協力をしていただきました皆様にも心より厚くお礼申し上げます。



(野菜・花の即売会の様子)

雑古紙の回収

上青梨子自治会長

湯浅眞司

雑古紙の回収については、池端町・上青梨子町では、既に回収が始まっております。他の三町内に於いても、近いうちに格納庫が設置され、回収作業がスタートする予定です。雑古紙とは、今迄、可燃ゴミとして出していた紙(ダンボール・包装紙・菓子箱・化粧品箱・その他)を分別し、リサイクル出来る紙として、専門業者が1kg当り八円の値段で買ってくれます。一方で市のゴミ償却費用の軽減に繋がります。皆様ぜひ雑古紙の分別回収にご賛同ください。現在、上青梨子町では、毎週日曜日の午前七時より午後六時迄、格納庫の鍵を開けておき、自治会長・組長・班長が交代で鍵当番を勤めております。池端町では、各家庭で格納庫の鍵を持っており、いつでも雑古紙を格納できる状態にあります。搬出されるゴミの減量化に向け、是非ご協力お願い致します。

まちづくりは人づくりから

子育て考(1)

松下 熙雄

平成十八年度から清里地区は、前橋市長より「まちづくり協議会でも協議を重ね 伝統行事の見直しと活性化、郷土料理と食育、雑古紙の回収、事務・広報部会の4つの部会を設けてまちづくりに取り組んでいる。まちづくりの根底にあってもっと大切されべきものに人づくりがある。今日いろいろと問題となつてくる青少年の非行や問題行動等の諸問題や子育て・親子関係のあり方、地域の関わり方等について考えて見たいと思います。

前橋警察署協議会のおり、ある委員さんからこんな話がありました。保育所・幼稚園で「こっこ遊び」をするとき「お父さん、お母さんになりたい人」と希望をとつてもなり手がいない。「家庭でペットとして飼育される犬や猫になりたい」という希望者が多いという。それは、なぜかというところからペットならば家族全員から大切にされ、可愛いがられるからという。お父さん役になつた子は、テレビの前で手枕で寝ながらテレビを見ている姿を演じたり、お母さん役の子は、「へお買い物に行ってくるから」とか「カラオケに行ってくるから」とか演じるといふ。子供は親の姿をよく見ており、親から色々なことを学んでいる。どの親もわが子は可愛く、深い愛情を注ぎながら将来への期待を込めながら子育てに取り組んでいる。しかし、子供がお父さん、お母さんよりペット役を希望するということは、子供自身もペットは可愛いと思つている面もあるのではありません。親は何者にも変えられないわが子を最高の愛情で子育てに当たつてると思いますが、その愛情が子供に本当に伝わっているのだろうかと考えさせられるところもある。一日に一度でいいからわが子を強く抱きしめることが大切ではないでしょうか。

お知らせコーナー

枝豆の収穫まつりでは、枝豆料理を三品、玉ねぎ料理を三品を試食してもらいました。

次は、「ふるさと祭り」で違った料理を用意して、皆さんの参加をお待ちしています。

(郷土料理と食育部会)

「清里ふるさと祭り」の実施

平成19年8月18日(土) 15:00~21:00

(清里ふるさと祭り実行委員会)



